

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

28年7月7日

大分県知事
(市長) 殿

提出者

住 所 大分県豊後大野市犬飼町田原2984番地2
氏 名 有限会社 宮成工務店
代表取締役 宮成 孝治
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0974-37-2216

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 宮成工務店
事業場の所在地	大分県豊後大野市犬飼町田原2984番地2
計画期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

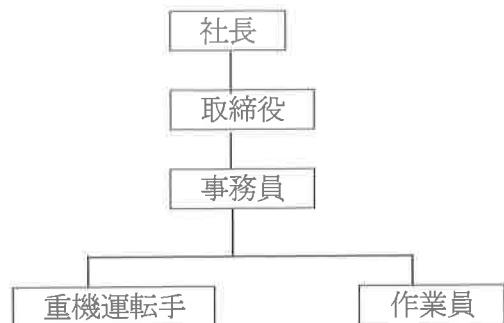
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	¥661,708,000
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 ・がれき類(コンクリート塊)→自社で再生碎石として再資源化 ・木くず→再生処理業者に委託してチップ(合板用、燃料用)として再資源化 →自社で中間処理して再資源化

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	1814.630 t	349.44 t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	1500 t	300 t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（27年度）実績】	
産業廃棄物の種類	がれき類
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1814.630 t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1500 t
(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（27年度）実績】	
産業廃棄物の種類	がれき類
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1814.630 t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1500 t
(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画		【目標】	
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
① 現状		産業廃棄物の種類	
全処理委託量		t	t
優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
再生利用業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		